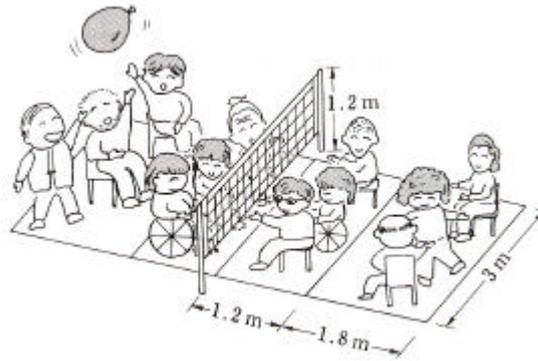


## 「風船バレーボール」競技規則

1チーム6名からなる2つのチームが、コート中央に設けられたネットをはさんで、たがいに風船を打ちあって得点を争う。

### ・競技場と用具

- 1) コートは図の通りで、ラインの幅は5cmを標準とし、コート内に含まれる。
- 2) ネット  
高さは1.2mを標準とし、バドミントン用ネットを利用する。
- 3) ボール  
なすび型の風船で40×25cmを標準とする。



### ・チームと競技者

- 1) 1チーム選手6名、交替選手4名以内、監督1名の構成で選手の1人はキャプテンとする。
- 2) 監督、キャプテンはタイムアウトと選手交替を要求できる。タイムアウトは1セット1回で1分、選手交替は各セットの開始時、タイムアウト時とする。

### ・競技者の位置と競技姿勢

前衛・後衛の各3名ずつの配置とする。競技姿勢は椅子坐位（車椅子）を原則とする。後衛は立位での競技も可能であるが、この場合両チーム同一条件とする。

## ・ 競技の進行

- 1) 主審の合図で開始する。コートチェンジは1セットごとに行うことを原則とする。
- 2) 得点は次の場合、相手チームの得点にする。
  - a) サービスを失敗した場合
  - b) ボールを相手コート内に返球できない場合。
  - c) 反則をした場合。
- 3) 競技の勝敗は1ゲーム3セット制とし、2セット先取したチームを勝ちとする。  
1セットは15点でジュース制とする。

## ・ ボールの扱い

ボールは故意でない限り、椅子（車椅子）を含め体のどの部分を使ってもよく、何回でも打てる。  
ドリブルやオーバータイムスの反則はない。

## ・ サービスの方法

サービスの本数は1本で、コート内の競技位置よりどの競技者が行ってもよい。前衛はアンダーサーブ、後衛はオーバーサーブを原則とするが、できない場合はゆっくりと投げ入れてもよい。  
第一セットの最初のサービス権は代表のジャンケンで決め、それ以降は得点をしたチームがその権利を有する。第二セット以降の最初のサービス権は前セットを失ったチームが有する。

## ・ 反則

- 1) タッチネット
- 2) オーバーネット
- 3) ホールディング
- 4) 立位選手が前衛で競技した場合
- 5) 坐位選手が浮き腰で競技した場合

## ・ 審判員

審判員は、主審1名、副審1名、線審2名とする。主審は、競技の進行・判定に関するすべての責任を持ち、副審・線審は主審を補佐する。また、選手に事故がないように試合を運営する。